

様式第50 (規則第90条の2関係)

× 整理番号	
× 審査結果	
× 受理日	年 月 日
× 許可番号	

火薬類譲受・消費許可申請書

平成26年4月2日

長崎県知事殿

(申請者)

住所 長崎市江戸町1番1号

氏名 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 印

名 称	長崎建設株式会社				
事務所所在地(電話)	長崎市江戸町1番1号 (095-111-0000)				
職 業	総合土木建設業				
(代表者) 住 所 氏 名 (年 令)	長崎 太郎 (55歳) 長崎市江戸町1番2号				
火薬類の種類及び数量	火薬	爆薬	工業雷管	電気雷管	導火線
	kg	kg	個	個	m
	50	1200	150	1800	30
目 的	県道51号線 新設・改良に伴う岩石破碎				
譲受期間 (6ヶ月を超えないこと。)	自 平成26年 5月 1日 至 平成26年10月31日				
貯蔵又は保管場所	長崎中央火薬販売店 所有 1級 火薬庫				
消費 に 關 す る 事 項	場 所	長崎市小江原町1234~2345番地外13筆			
	日時(期間)	自 平成26年 5月 1日 至 平成26年10月31日			
	危険予防 の 方 法	別紙のとおり			

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 ×印の欄は、記載しないこと。

火薬類消費場所見取図

1 代表者名 長崎 太郎

2 消費場所 長崎市小江原町1234～2345番地外13筆

3 見取図

消費場所 火薬庫団 火薬庫外貯蔵所④ 火薬類取扱所④ 見張人・警戒人

凡例

火工所④ 学校④ 家屋 村落の家屋 ○○戸 市街地

- (注) 1 消費場所を中心とし、200m以内にある保安物件は、その名称等を漏れなく明記し、消費場所から保安物件までの距離を記載すること。
- 2 消費場所は赤色明示し、消費場所へ行く途中の道順及び目標物を明記すること。
- 3 付近に家屋がある場合は、番号を付し、消費承諾書の頭部に番号を付けること。
- 4 本図に記載困難な場合は、別の詳細図に添付すること。

住 所 長崎市江戸町1番1号

事 業 所 長崎建設株式会社

代表者名 代表取締役 長崎 太郎

印

火薬類取扱従事者明細書

取扱従事者 内 容	氏 名	年齢 (満)	免状等の種類	手帳の種類	社員の区分
管理責任者	長崎 一郎	45	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火薬類取扱所 正 責 任 者	福岡 次郎	51	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
" 帳簿記載者			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
" 見張人			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火工所 正 責 任 者	佐賀 三郎	41	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
" 帳簿記載者			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
" 見張人			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
発破係	熊本 四郎	56	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
現場警戒	宮崎 五郎	45	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火薬類 運搬人	長崎中央火薬販売 店の社員		甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
"			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向

火薬庫から火薬類取扱所までの距離

7 km

(注) 1 免状等の種類、手帳の種類、社員の区分欄は、該当するものを○で囲むこと。

2 申請時には、必ず各々の手帳を持参すること。

火薬類消費見積及び実績表					
採取量等工事量の大きさ(m ³)	m ³ 4000	岩石等1m ³ 当たりの碎石に必要な平均薬量(g)	g 300	採取等に必要な火薬類の薬量(kg)	Kg 12000
見 積				実 績	
火薬類の種類		申請期間の数量	1日の最大消費見込数量	1ヶ月の最大消費見込数量	平成 年 月 日 平成 年 月 日
火薬		50 Kg	5 Kg	10 Kg	Kg
爆薬		600 Kg	50 Kg	350 Kg	Kg
雷管		2000 個	130 個	240 個	個
導火線		30 m	5 m	25 m	m
建設用鉄打銃用空包		個	個	個	個
コンクリート破碎器		個	個	個	個

1ヶ月に25kg以上の火薬又は爆薬を消費する場合の火薬類取扱保安責任者					
区分	氏名	住所	免状の種類	保安手帳番号	
正	長崎 一郎	長崎市…	甲種・乙種	④1321号	
副	佐賀 三郎	長崎市…	甲種・乙種	④3989号	
副			甲種・乙種	④号	
代	福岡 次郎	諫早市…	甲種・乙種	④2376号	
代			甲種・乙種	④号	

(注) 1 免状の種類は、都道府県知事行った試験によるものである。

- 2 1ヶ月に1トン以上の火薬又は爆薬を消費場合の正は甲種、副は乙種又は甲種、代理者は甲種とする。
- 3 1ヶ月に25kg以上の火薬又は爆薬を消費する場合の正、副、代理者は各々乙種又は甲種とする。

【算出方法】

採取量等工事量の大きさ(m³) × 岩石等1m³当たりの碎石に必要な平均薬量(g)

=採取等に必要な火薬類の薬量(kg)

危険予防の方法その他説明

代表者名 長崎 太郎

(印)

1	発破孔の穿孔方法	(1) 手掘 (2) 機械掘					
2	火薬類込棒の種類	竹の棒					
3	工業雷管と導火線の締付器	(1)締付器 (2)					
4	電気雷管による起爆の電源種類	(1)発破器 (2)電灯線 (3)蓄電池 (4)					
5	1日の発破回数 発破時刻	2回 (1) 11時 55分 (5) 時 分 (2) 17時 55分 (6) 時 分 (3) 時 分 (7) 時 分 (4) 時 分 (8) 時 分					
6	発破前の付近の民家等に対する予告の方法	(1)サイレン (2)笛 (3)鐘 (4)口頭 (5)赤旗 (6)					
7	警戒人の人数	4人					
8	火薬類取扱所及び火工所の位置並びに構造 (位置は図面に示しておくこと。)	火薬類取扱所			火工所		
		(1) 鉄筋コンクリート造 (2) コンクリートブロック造 (3) 鋼板 (4) 木造 (5) その他			(1) 木造 (2) テント式 (3) その他()		
9	飛散防止設備等について (防止柵があるときは、消費場所を消費示す図面に位置及び大きさを示しておくこと。)	(1) 防止柵について					
	無	有	防止柵の種類				
			金網	竹			
	(2) 発破箇所の被覆について						
	し な い	す る	被覆用材				
			古畳	古タイヤ	古漁網		
備 考	〈注〉 季節により発破時刻の変動に要注意。						

(注) (1) 2、5、7の右欄は、申請人で記入し、その他は該当事項を○で囲むこと。

(2) 8の火薬類取扱所については、正面、側面、内部の写真を添付すること。ただし、内部がどうしても撮影できない場合は、その旨記入すること。

火薬類保管依頼書

今般消費の目的で現場に持つて行った火薬類が万一残った
場合は、貴店に保管願いたく依頼します。

平成 26 年 4 月 1 日

長崎中央火薬販売店 御 中

(依頼者) 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 印

火薬類保管承諾書

上記火薬類保管御依頼の件承諾いたします。

平成 26 年 4 月 1 日

長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 様

(承諾者) 長崎中央火薬販売店
○○ ○○ 印

(注) 正規の火薬庫、貯蔵所があるところは、これを添付しないでよい。

工事証明願

- 1 工事名 県道51号線 新設・改良工事
2 工事施行者 長崎建設株式会社
3 工事箇所 **長崎市小江原町1234～2345番地外13筆**
4 工事期間 平成26年3月1日から平成26年12月1日まで
5 火薬類の消費目的 県道51号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎
6 火薬類の種類及び数量

火薬	50kg	工業 雷管	150個	導火線	30m
爆薬	1200kg	電気 雷管	1800個		

上記工事のため火薬類の譲受及び消費許可申請をいたしますので、上記のとおり相違ないことを御証明願います。

平成26年4月1日

長崎振興局長様

住 所 長崎市江戸町1番1号

氏 名 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 **印**

証明書

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成26年4月1日

証明者

住 所 長崎市・・・

氏 名 長崎振興局

長崎振興局長 **□□ □□ 印**

(注) 1 公共事業等で火薬類を消費する場合は、官公庁の証明書であるが、個人事業等の場合でもこの用紙を使用するものとする。

2 公共事業等での下請の際もこの用紙を利用し、1行目の工事証明願の左に、下請と記入すること。

火薬類消費承諾願

1 消費期間　自 平成26年5月1日
至 平成26年10月31日

2 消費場所　長崎市小江原町1234～2345番地外13筆

3 消費目的　県道51号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

上記のとおり貴殿所有の土地において火薬類を消費することを
御承諾願います。

平成26年3月20日

(地主)

○○○○様

(消費者)

氏名 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 

承諾書

上記の件について承諾します。

平成 26年 3月 20日

(消費者)

氏名 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎

(地主)

氏名 ○○○○ 

(注) 地主が他人である場合、この用紙を使用すること。

誓 約 書

- 1 消費場所 長崎市小江原町1234～2345番地外13筆
- 2 消費目的 県道51号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

上記の土地は私の所有であることは相違ありませんが、万一火薬類の消費について、他より意義の申立てがあつても県に対しては、御迷惑をかけないことを誓約いたします。

平成26年4月1日

長崎県知事様

(住所) 長崎市江戸町1番1号

(氏名) 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 (印)

(注) 自己の土地において火薬類を消費する場合、この用紙を使用すること。

火薬類消費承諾書

- 1 消費期間 平成26年5月1日～平成26年10月31日
- 2 消費場所 長崎市小江原町1234～2345番地外13筆
- 3 消費目的 県道51号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

貴殿居住(管理)の家屋()の付近で上記のとおり火薬類を消費したいので御承諾願います。

平成26年3月20日

(住所) 長崎市小江原町…

(氏名) ○○ ○○

(住所) 長崎市小江原町…

(氏名) △△ △△ 様

消費者

(住所) 長崎市江戸町1番1号

(氏名) 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 (印)

承諾書

上記の件については、承諾いたします。

平成26年 3月20日

長崎建設株式会社 様

(住所) 長崎市…

(氏名) ○○ ○○

(住所) 長崎市…

(氏名) △△ △△

(注) 火薬類を消費する場所の付近の住家或いは学校、病院等の承諾を求める場合、この用紙を使用すること。

火薬類製造・取扱保安責任者等選任・解任届

平成 26 年 4 月 1 日

長崎県知事様

会社名 長崎建設株式会社

代表者氏名 代表取締役 長崎 太郎 (印)

名称		長崎建設株式会社		
事務所所在地 (電話)		(〒850-0000) (電話 111-0000) 長崎市江戸町1番1号		
事業所所在地 (電話)		(〒 -) (電話)		
製造所	所在地及び 製造区分			
火薬庫	所在地及び 種類・棟数 式 級・ 火薬庫 棟			
消費場所	消費場所及び 火薬類取扱所・火工所 火薬類取扱所・火工所 1箇所			
選任	氏名 (製造・取扱)	(正) 長崎 一郎	(代理者) 福岡 次郎	(副) 佐賀 三郎
	免状種別	甲種	甲種	乙種
	県・番号	長崎県 1321号	長崎県 2376号	長崎県 3989号
解任	氏名 (製造・取扱)	(正)	(代理者)	(副)
	免状種別	種	種	種
	県・番号	県号	県号	県号
選任(解任)年月日		平成 26 年 4 月 1 日		
備考				

(注)本様式は、平成 23 年 4 月 26 日付け「九州政策連合」の統一様式によるものであります。

履歴書

1 本籍地	
2 現住所	長崎市・・・
3 氏名	長崎 一郎
4 生年月日	1970年9月4日
5 最終学歴	県立建設大学校 土木部 建設科卒業 H4年 3月

6 業歴

職業

H4年 4月	…会社 入社
H10年 8月	…会社 入社
H15年 3月	長崎建設株式会社 入社
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

上記のとおり相違ありません

平成26年3月20日

氏名 長崎 太郎 (印)

平成26年3月25日

社員出向承諾書

長崎建設株式会社様

証明者

住 所 諫早市・・・
氏 名 諫早建設

代表者 代表取締役 諫早 太郎 印

このたび、県道51号線 新設・改良工事における火薬類の消費作業に、
当社社員 2名を出向させることを証明いたします。

出向社員名

- 1 熊本 四郎
- 2 宮崎 五郎
- 3

出向期間

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成26年12月31日